

自治体SDGsモデル事業名：『自然との共生(オーガニックビレッジ)』『支え合い(well-being)』『地域ブランドの創造』によるまちづくり

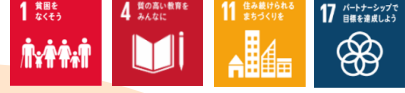
提案者名：奈良県天理市

取組内容の概要：多様な連携による持続可能な「農」のプラットフォームの構築を目指し、大学等との連携により人材育成、産業創出、活躍の場づくりを行う。交流人口、関係人口の創出も図りながら、オーガニックな産品などに新たな付加価値を付け、地域通貨等を活用して流通させることで、経済の活性化につなげる。

経済



社会



課題：人口減少による経済の縮小

課題：若年層の流出・地域コミュニティの希薄化

- 産官学連携の 観光・農一体による経済の活性化**
- ・【①-1】スマート農業の実現に向けた『チャレンジファーム事業』など、民間企業等との連携による『稼げる農』の創出
 - ・【①-2,3】産官学連携の体験型観光事業推進 (スポーツツーリズム、おてつたび)

- その他の取組み**
- **地域資源の活用**
 - ・歴史文化・芸術・スポーツなど、天理ならではの魅力ある地域資源
 - ・天理ブランド「めぐみめぐるてんり」



- 市民共感型まちづくり (まちの豊かさの創造、well-beingの向上)**
- ・【②-1】AIを活用した新たなデマンド交通サービスの導入
 - ・【②-2】学校の多世代交流拠点としての機能の複合化 (みんなの学校プロジェクト)
 - ・【②-3】食品を通じた支え合いの取組み (※GCF活用のみひとり親家庭支援、フードドライブ) ※GCF…自治体が行うクラウドファンディング

- その他の取組み**
- **大学と連携したまちづくり**
 - ・大学と連携した行政施策貢献学生認定制度
 - ・大学と連携した多様な国際連携 (JICA関西との連携、スポーツを通じた国際連携)

- 【経済面の相乗効果】**
オーガニックビレッジの取組みによる経済の活性化
- 【環境面の相乗効果】**
経済循環による有機農業の振興

課題：里山、農地、環境、生物多様性の保全

- 里山の豊かさの実現**
- **【③-1】有機農業によるオーガニックビレッジの実現**
 - ・堆肥を活用した有機農業による豊かな里山づくり
 - ・地産地消による域内循環の実現 (学校給食への有機農産物の活用、食育等)
 - ・有機農業×生物多様性の調査、研究
 - ・茶畑再生事業 (三年晩茶)
 - ・里山の私塾プロジェクト
 - **【③-2~4】カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの取組みによるゼロ・ウェイスト社会の実現**
 - ・官民連携によるカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの取組み
 - ・全小学校での食品残渣削減プロジェクト (みんなの学校プロジェクト)
 - ・地域での環境保全、生物保護活動

- 【社会面の相乗効果】**
環境保全活動を契機としたコミュニティの活性化
- 【環境面の相乗効果】**
多様な連携によるCO2排出量の削減

環境



里山の豊かさの実現

生物多様性

環境保全

国際性

スポーツ

市民協働

支え合い

産業創出

大学連携

地域資源